

みや 事業の100年

- きごと
- 運動が起こる
- 認可が下りる
- 第一部庁舎が焼失する
施設が被災する
- 急急拡張事業が開始される
浄水場などが被害を受ける
- 開始される(～昭和35年)
井水源(平成16年に休止)などの整備
- 開始される(～昭和42年)
池などの整備
- 開始される(～昭和58年)
沢配水場、石那田配水場などの整備
- 開始される(～昭和59年)
、高間木取水場などの整備
- が開始される
- 開始される
- 開始される(～平成7年)
の整備
- 都市」32市の1つに選ばれる
- 開始される(～平成33年予定)
場配水池増設、白沢浄水場施設更新
- 「拠点」の整備が開始される
- 一元化され「上下水道局」が発足する
- 業務を開始する
- ISO9001の認証を取得する
- 上河内町の事業を継承し、
る
- 太陽光発電設備を設置
「GLP」の認定を取得する
- 100周年を迎える

2

明治42(1909)年に大谷川を水源とし、今市浄水場を建設することが決まり、大正2(1913)年に整備工事が開始されました。

赤い屋根が特徴の今市浄水場の管理棟は今でもあるんだよ。
レトロで可愛い建物なの！見学ができるよ～。
見学をご希望の方⇒今市浄水場 tel.0288-21-0158



今市浄水場ろ過池築造



今市浄水場旧管理棟(現水道資料館)

4

宇都宮大空襲や今市地震により多くの水道施設が被害を受けました。

せっかく造った水道施設が…。
でも復興に向けて工事を進めて、
昭和28(1953)年3月に完了したよ。



6

第4期拡張事業では、本市最大規模の松田新田浄水場と高間木取水場を整備し、川治ダムを水源として、昭和54(1979)年に給水を開始しました。

高間木取水堰で鬼怒川から
水を取り入れて取水場まで送るんだ！



松田新田浄水場



高間木取水堰

8

品質を保証する国際規格「ISO9001」を取得したり、水質管理室が水質検査の実施体制を保証する「水道GLP」の認証を受けています。

安心・安全だね！宇都宮市は
「水道水のおいしい都市」32市の
1つにも選ばれたこともあるし、
宇都宮市の水道水はぼくの
自慢なんだ～！



水質検査

10

環境負荷低減と再生エネルギー活用のため、松田新田浄水場、白沢浄水場などに太陽光発電設備を、今市水系第三減圧所に小水力発電設備を設置しました。

環境にやさしくすることは重要だよね！



松田新田浄水場太陽光発電

水をお届けできるよう、
適正な水質の管理に努めていきます。

これからも当たり前
水を使うことができるように
頑張らなくちゃ！
どんな100年になるか
楽しみだな～！



宇都宮の下水道は昭和40年から下水の処理を開始し、昨年(平成27年8月1日)で50年を迎えました。

下水道のあゆみも振り返っていくよ！



うつのみや 下水道事業の50年

| 年 | 西暦 | できごと |
|------|------|---|
| 昭和32 | 1957 | 国から公共下水道事業が認可され、下水道管の整備工事に着手する |
| 昭和37 | 1962 | 田川処理場(現下河原水再生センター)の建設に着手する |
| 昭和40 | 1965 | 下水の処理を開始 |
| 昭和49 | 1974 | 田川第2処理場(現川田水再生センター)の建設に着手する |
| 昭和56 | 1981 | 市街化調整区域での特定環境保全公共下水道事業に着手する(大谷地区) |
| 平成 4 | 1992 | 農業集落排水処理施設の供用が開始される(板戸地区) |
| 平成 8 | 1996 | 清原工業団地排水処理施設が市に移管される |
| 平成13 | 2001 | 雨水幹線の整備に着手する |
| 平成14 | 2002 | 雨水貯留浸透施設の設置費補助制度を導入する |
| 平成19 | 2007 | 市町合併により、旧上河内町・河内町区域を処理区域に編入する |
| 平成27 | 2015 | 川田水再生センターで消化ガス発電施設の整備に着手する(平成28年3月完成) 下水処理開始から50周年 |

日常生活に欠かせない下水道をこれからも守っていくよ～！



現在では、普及率80%を超え、多くの方が下水道を使えるようになっています。次の50年も快適な生活環境を維持できるよう、下水処理や雨水対策を進めていきます。

1

戦後、雨水や汚水はそのまま川へ流されており、保健衛生や交通などに影響を及ぼしていたことから、下水道整備に向けての動きが始まりました。

2

市街地の拡大に合わせて、トイレの水洗化などを進めるため、下水道の整備区域を拡大していきました。



建設中の田川第2処理場



川田水再生センター

今は当たり前のように快適にトイレを使えるけれど、それはこの頃の事業のおかげだね。



3

大雨などによる浸水などの災害からまちを守るために、雨水を流したり一時的にためる雨水幹線の整備を始めました。



大雨のとき、まちに水が溢れないようにすることも下水道の重要な役割なんだよ～！

4

各家庭で雨水をためたり浸透させる施設の設置費を補助するという取り組みも進めています。

この「雨水貯留タンク」は屋根に降った雨水をためて庭の水まきなどに利用できるようにするものなんだ！

※補助の対象となるのは、**市街化区域に住所を所有または占有し**、市税・水道料金・下水道受益者負担金及び下水道使用料に滞納がない方になります。また、設置については条件や設置基準がありますので、**事前**にお問い合わせ下さい。



雨水貯留タンク

工事受付センター 接続工事受付グループ

☎633-3164

5

下水の処理の際に発生するガスを利用した発電に取り組むなど、環境に配慮した事業を進めています。



消化ガス発電施設

下水を使って発電するなんてびっくりだよ！詳しくは次号No.52で紹介するから楽しみにしてね。



上下水道に関するお問い合わせは >>>お客様受付センター ☎633-1300

※夜間及び土曜・日曜・祝休日の緊急連絡先 ☎633-3195 (警備員による対応になります)

編集発行

宇都宮市上下水道局

〒320-8543 宇都宮市河原町1番41号

☎028-633-3230 FAX 028-633-3264



この印刷物は再生紙を使用しています。

4月3日号の印刷費819千円(消費税を含む)